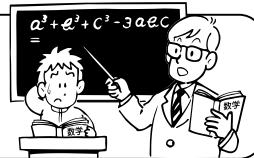


# 第1学年 数学科 シラバス



## 数学科の学習の目標

- 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深める。
- 数学的な技能を習得する。
- 事象を数学的に考察する力を高める。
- 数学的な活動の楽しさを味わう。

## 数学科の学習の特色

- 1年週4時間、2年週3時間、3年週4時間の授業を行います。
- 学習の系統性を大切にし、3年間の学習をとらえて、次の点を重点目標としています。  
「**基礎学力の定着、技能の習熟を図る**」  
「**数学的な見方や考え方のよさを知り、自ら考え、解決しようとする態度を育てる**」

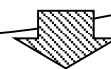
## 数学の授業の受け方

- 毎時間の授業では、教科書、ノート、問題集、定規等、持ち物を忘れないこと。
- 授業中、必要なことはノートにメモをとり、整理しておくこと。
- 問題をやる際は、問題文をよく読んで、まず自分で考えてみること。
- 他の人の考えから学べることがあります。授業中に他の人が発表しているときは、よく聞くこと。
- 「なぜそうなるのか」を理解すること。  
【 予習 】  
前もって教科書を読んでおくだけでも授業の内容が分かりやすくなります。  
【 復習 】  
授業のノートを見直しておく。  
問題集の問題をくり返し解いてみる。

## 数学科の評価の観点

### ◆知識・技能

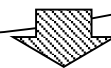
- 数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解している。
- 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。



- 数量や図形に関して、基本的な言葉や用語の意味を理解している。
- 定理について、意味や根拠を理解している。
- 計算の方法を理解して、正解を導き出すことができる。
- 図形の性質を使って、求めたい角の大きさや、辺の長さを知ることができる。

### ◆思考・判断・表現

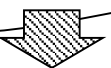
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。



- 課題を、数学的に、筋道だてて考えることができる。
- 課題解決の過程を、自分の言葉や図や式を利用して説明できる。

### ◆主体的に学習に取り組む態度

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。



- 課題への取り組みの様子
- 授業への参加の様子や学習への姿勢

**これら3つの観点を、授業、定期テスト、小テスト、ノート提出、ワーク提出、その他の課題提出で、評価していきます。**

1年生		◆学習内容◆	◇学習のわらい◇
1学期	4月	1章 正の数・負の数	○正の数、負の数の意味や考え方について学びます。 ○正負の数の+、-、×、÷（四則）の計算方法を学びます。
	5月	1 正の数・負の数	
	6月	2 正の数・負の数の計算 3 正の数・負の数の利用	
	7月	2章 文字の式	
2学期	8月	1 文字を使った式 2 文字式の計算	○いろいろな数量を、数の代わりに文字を使って表すことを学びます。 ○文字式の計算方法を学びます。 ○等式、方程式の意味を学び、「等式の性質」を利用して、方程式を解けるようにします。 ○方程式を利用して色々な問題を考えます。
	9月	3章 方程式	
	10月	1 方程式 2 方程式の利用	
		4章 変化と対応	
	11月	1 関数 2 比例 3 反比例 4 比例、反比例の利用	
		12月	
3学期	1月	1 直線と図形 2 移動と作図 3 円とおうぎ形	○いろいろな平面図形の性質や特徴を学びます。 ○いろいろな図形の作図の方法について学びます。 ※コンパスと三角定規が必要になります。各自で用意しておきましょう。 ○いろいろな立体図形の性質や特徴について学びます。 ○図形の表面積や体積を求める計算の仕方を身に付けます。 ○集めた資料を表やグラフや分布図にまとめる方法を学びます。 ○集めた資料を利用の仕方に応じて、特徴がとらえやすい表やグラフ、分布図にまとめる方法を考えます。
	2月	6章 空間図形	
	3月	1 立体と空間図形 2 立体の体積と表面積	
		7章 データの活用	
		1 ヒストグラムと相対度数 2 データにもとづく確率	

年間授業時数 140時間（週4時間）

～ 数学の学習のポイント ～

○「正負の数」といって、数には「+の数」と「-の数」があることを学習します。

$$\begin{array}{ll} (+4) + (+2) = +6 & (+6) - (+2) = +4 \\ (-3) + (-5) = -8 & (-3) - (+5) = -8 \\ (+2) + (-6) = -4 & (+4) - (-2) = +6 \\ (-6) + (+3) = -3 & (-2) - (-5) = +3 \end{array}$$

このように、正負の数の加法、減法に加え、乗法、除法を正しく計算できるようになることが必要です。



正負の数の四則計算はとても大切です。足し算・引き算とかけ算・わり算では符号のつけ方が変わります。



方程式の計算を勉強します。文字を使った等式を自由に使えるようになります。